

## 研究終了報告書

厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）  
（分担）研究年度終了報告書

嚥下機能低下に伴う服薬困難に対応するためのアルゴリズム等作成のための研究（ 20GA1004 ）

### 介護老人保健施設における服薬状況調査

研究分担者 大河内二郎

社会医療法人若弘会、介護老人保健施設 竜間之郷 施設長

#### 研究要旨

介護老人保健施設におけるフィールド調査を実施した。

#### A. 研究目的

老人保健施設における嚥下機能低下の割合、服薬困難者の割合、口腔内残薬の有無等の出現率を明らかにするために、調査を実施した。

するには限界がある。そのため、看護職が中心になり薬剤管理を行っている。この看護職による薬剤管理は、薬剤の在庫管理・薬剤についての家族への説明・作用や副作用管理・服薬等の与薬管理・介護職への薬剤管理指導など多岐にわたっている。

#### B. 研究方法

主任研究者、研究班員とのDiscussion  
（倫理面への配慮）

個人が特定されない仕組みによる調査手法の検討を行い調査を実施した。

固有の役割に加え、薬剤師の代役も担っている看護職は負担が大きい。そんな中で、多職種が共同して服薬の支援を行う体制が望ましいと考えられた。

#### C. 研究結果

##### ①施設調査票

##### ②施設ユニット調査票

③個別調査票を用いて37の老人保健施設からデータを収集した。またそれぞれの施設のユニットおよび入所者の情報を収集した。得られたデータから、高齢者施設の嚥下困難者における服薬の課題を整理した。多くの高齢者施設においては薬剤師はおらず、その支援は看護師を中心に多職種で行われている。老人保健施設では、摂食に対する支援は、管理栄養士、薬剤師、そして言語聴覚士を中心としたリハビリ職が担っている。服薬の支援については、薬の処方役割を担う医師が1人であり、かつ薬剤師を配置していない施設が大半である。入居者100人に対し医師が一人ひとりにきめ細やかな対応を

#### E. 研究発表

なし

#### G. 研究発表

1. 論文発表 特記なし
2. 学会発表 特記なし  
(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

H. 知的財産権の出願・登録状況予定を含む。) 特記なし

1. 特許取得 特記なし
2. 実用新案登録 特記なし
3. その他 特記なし